

今回は、県南教育事務所管内で行われた2つの社会教育事業について報告します。

「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム ・教育振興運動推進研修会

6月5日(水)、奥州市前沢ふれあいセンターにおいて、「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム・教育振興運動推進研修会を開催しました。教育振興運動推進研修会と「地域とともにある学校づくり」推進フォーラムを併せて行うのは今年で2年目となります。

研修会では、学校と地域との連携・協働のあり方、連携・協働の体制を活用した取組事例、地区の教育振興運動の実践についての行政説明、宮城教育大学特任教授の野澤令照氏による「実情に応じた効果的なコミュニティ・スクールの導入方策」と題しての講演、一関市学校支援事業室根地域支部と水沢子どもの居場所実行委員会の実践発表がありました。

今年度のフォーラムには、学校関係者、地域学校協働活動関係者、教育振興運動推進関係者など184名の方に参加していただきました。コミュニティ・スクールの導入やこれからの学校と地域の連携・協働について理解を深めるよい機会になりました。

【感想】

目標やビジョンを共有して双方向の関係の中で学校教育の充実、地域の活性化を図っていくことは、とても重要だと感じた。

学校と地域の連携・協働を進めるには、地域コーディネーターの役割が必要だと思う。

コミュニティ・スクールを基盤とした、より適切で効果的な連携・協働が今後さらに求められると思う。



一関市学校支援事業室根地域支部
地域コーディネーターの佐藤さんと
小野さん

学校と地域をつなぐコーディネーターの業務を具体的に教えていただきました。

水沢子どもの居場所実行委員会
代表の大村さん

子どもたちの自主性と社会性を育む取組について、子どもたちとの関わり方にもふれて、教えていただきました。



中学校・高等学校図書館担当者等研修会 ビブリオバトルを行いました

6月23日(金) 東山地域交流センターにおいて、教育事務所管内中学校・高等学校図書館担当者等研修会を行いました。管内の中学校・県立学校の図書館担当者43名と公立図書館職員等14名の57名が受講しました。今回の研修会では、演習として川崎図書館と一関図書館の司書さんを講師に、受講者による「ビブリオバトル」を行いました。また、情報交流では、交流テーマを『読書がとても楽しい』と感じる生徒をふやすためにとし、グループ協議を行いました。



グループ予選の様子

一人3分の本紹介と1分の質問タイム。読みたいという支持を集めた本が勝ちあがるルール。グループとブロックの予選を経て決勝戦。決勝戦は同点でW優勝!



決勝戦



今回の優勝(チャンプ本)は、
『ことことこーこ』阿川佐和子 <紹介者:胆沢中 渡辺先生>
『どう解く?』やまざきひろし他 <紹介者:厳美中 山初先生>

情報交流では、校種別で同規模程度の学校でグループをつくり協議し、読書のよさや読書推進の取組を共有しました。

【交流の中で紹介された読書推進の取組】

- 朝読書の徹底
- 委員会を活用したPOPづくりや展示作業
- テーマ読書
- ビブリオバトル
- ブックトーク
- 本のポスター作り
- 文化祭等での展示紹介
- 教科書の作者の作品紹介
- 授業中の鑑賞
- 読み聞かせ会
- 授業での図書館利用
- 先生方のおすすめ本の展示紹介
- 図書館まつり(読書強化週間)
- リクエストを大切に
- 生徒や学校司書の意見を取り入れた書籍の購入
- シリーズものの充実
- 図書だよりの発行 etc

児童生徒の読書活動がさらに盛んになるよう、先生方の支援と協力をこれからもよろしくお願ひいたします。